

令和6年
心血管疾患の医療連携体制を担う
医療機関における診療状況
調査結果

令和6年心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査の概要

【調査対象】

令和6年1月1日～令和6年12月31日までの急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査

【対象機関数及び回収状況】

	急性期		回復期・再発予防・かかりつけ医		計
	病院	診療所	病院	診療所	
調査対象機関数	12	1	75	171	259
回答機関数	12	1	73	160	246
回収率	100%	100%	97.3%	93.6%	95.0%

【調査実施期間】

令和7年7月10日(木)～8月1日(金)

【調査方法】

令和7年4月1日現在での岡山県急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関へ調査票を郵送し、FAX等にて回収

(※下記急性期医療機関13施設は、メールで調査票を送付)

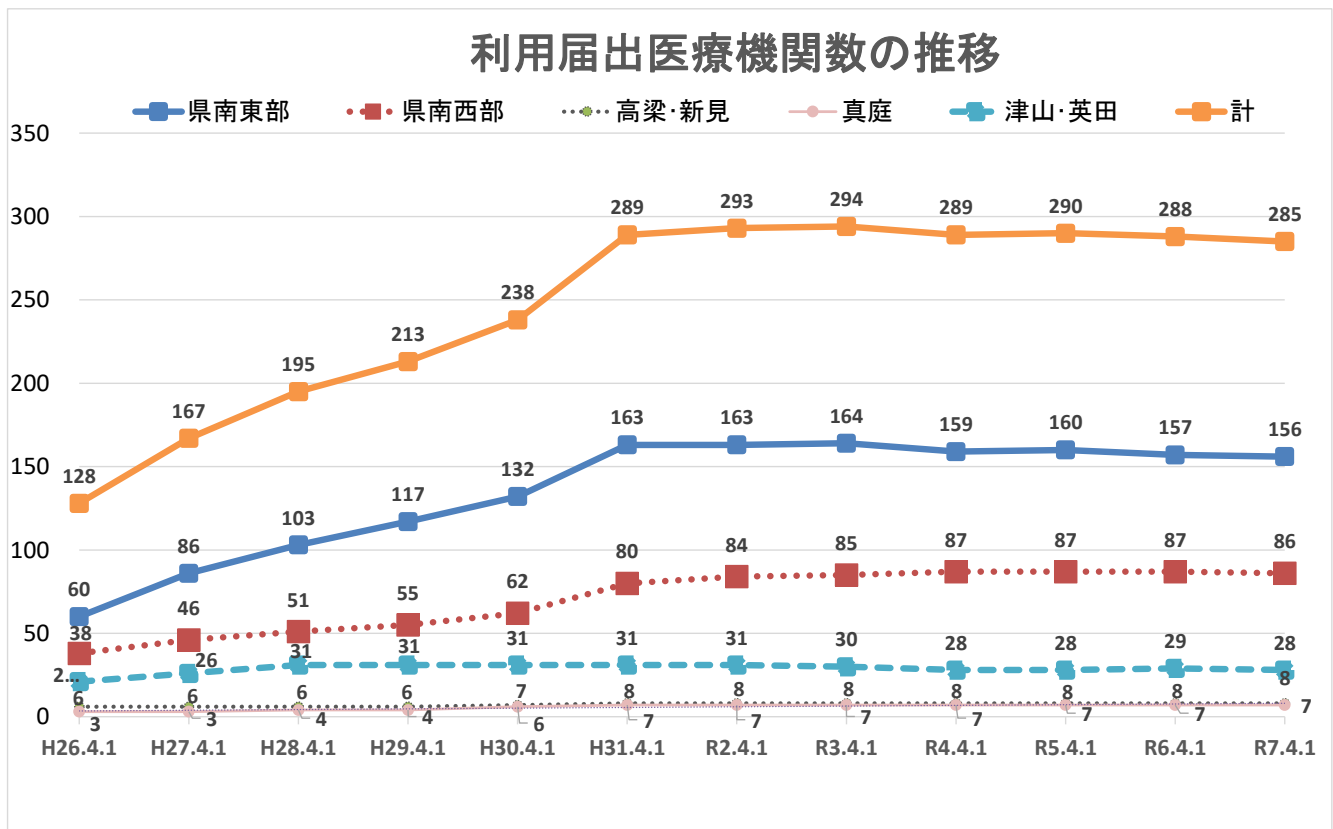
- ・独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター
- ・岡山済生会総合病院
- ・地方独立行政法人岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院
- ・総合病院岡山協立病院
- ・岡山赤十字病院
- ・岡山大学病院
- ・独立行政法人労働者健康安全機構 岡山ろうさい病院
- ・川崎医科大学総合医療センター
- ・社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院
- ・岡山ハートクリニック
- ・川崎医科大学附属病院
- ・公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
- ・一般財団法人津山慈風会 津山中央病院

安心ハート手帳 利用届出機関数（R7.4.1現在）

	急性期		回復期		再発予防		かかりつけ		計
	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	
県南東部	9	1	11	6	16	32	7	74	156
県南西部	2	0	6	3	20	16	12	27	86
高梁・新見	0	0	0	0	5	1	1	1	8
真庭	0	0	0	0	3	0	2	2	7
津山・英田	1	0	1	0	2	1	4	19	28
小計	12	1	18	9	46	50	26	123	285
計	13		27		96		149		285

<利用届出医療機関数の推移>

	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1
県南東部	60	86	103	117	132	163	163	164	159	160	157	156
県南西部	38	46	51	55	62	80	84	85	87	87	87	86
高梁・新見	6	6	6	6	7	8	8	8	8	8	8	8
真庭	3	3	4	4	6	7	7	7	7	7	7	7
津山・英田	21	26	31	31	31	31	31	30	28	28	29	28
計	128	167	195	213	238	289	293	294	289	290	288	285



心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況（令和6年）

急性期病院

医療連携体制を担う医療機関の届出施設【急性期】 13施設（病院12施設、診療所1施設）

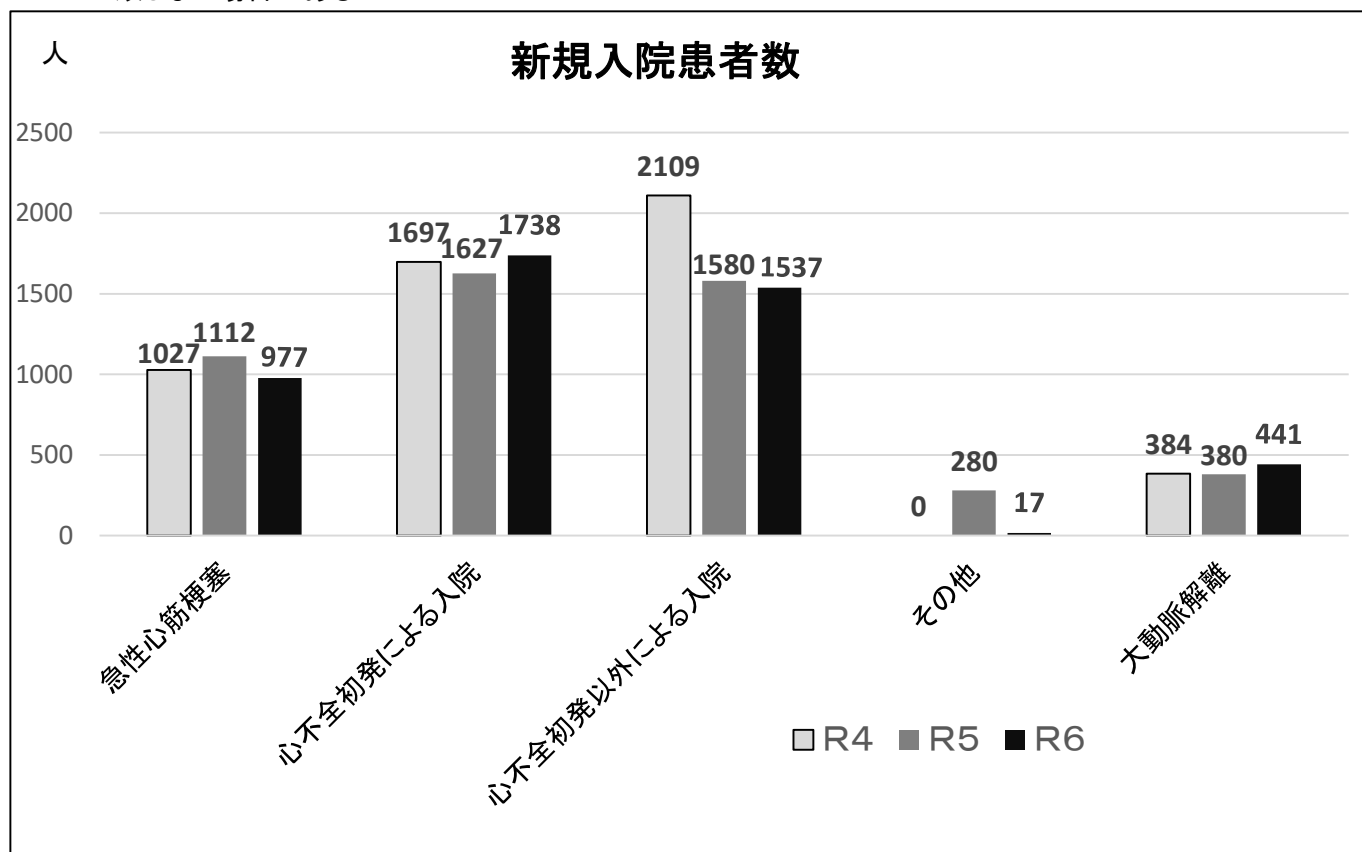
＜回答率 100%（13施設（病院12施設、診療所1施設） 集計結果＞

1 急性心筋梗塞または心不全、大動脈解離により、新規入院した患者数

		急性心筋梗塞	心不全		大動脈解離
			初発による入院 ※1	心不全初発以外 による入院	
新規入院患者数(A)		977人	1738人	1537人	441人
入院後の 状況 (内数)	入院継続中(B)	2人	3人	10人	0人
	他医療機関への転院(C)	82人	230人	192人	79人
	退院(D) (生活の場への復帰)	631人	931人	1026人	210人
	入院中に死亡した 患者数(E)	105人	72人	109人	63人
	不明(E)	3人	2人	0人	0人

※医療機関のシステムにおいて、初発・初発以外での抽出ができない場合は、全て初発で計上

※入院後の状況(内数)が、正確にわからないと回答した医療機関があるため、総数と内数の合計が一致しない場合がある



2-1 分かる範囲での問1の患者が有している合併症

疾患名		人数
高血圧		1966人
糖尿病		1203人
腎不全	維持透析あり	75人
	維持透析なし	190人
脂質異常症		449人
その他		3641人

2-2 問1の患者で、分かる範囲で下記3項目に当てはまるものの人数

項目		人数
喫煙状況	喫煙	606人
	禁煙 (過去に喫煙歴あり)	189人
	喫煙経験なし	1245人
かかりつけ医	あり	691人
	なし	201人
同居家族	あり	333人
	なし	410人

3 入院患者のうち、地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)の適応症例に該当する患者

適応症例あり:100%

4 適応症例の患者に地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付の有無

全員交付	2医療機関(15.4%)
一部の患者に交付	9医療機関(69.2%)
空欄	2医療機関(15.4%)

※問3で適応症例に該当する患者がいたと回答した13医療機関(病院12、診療所1)についての集計

一部の患者に交付した理由

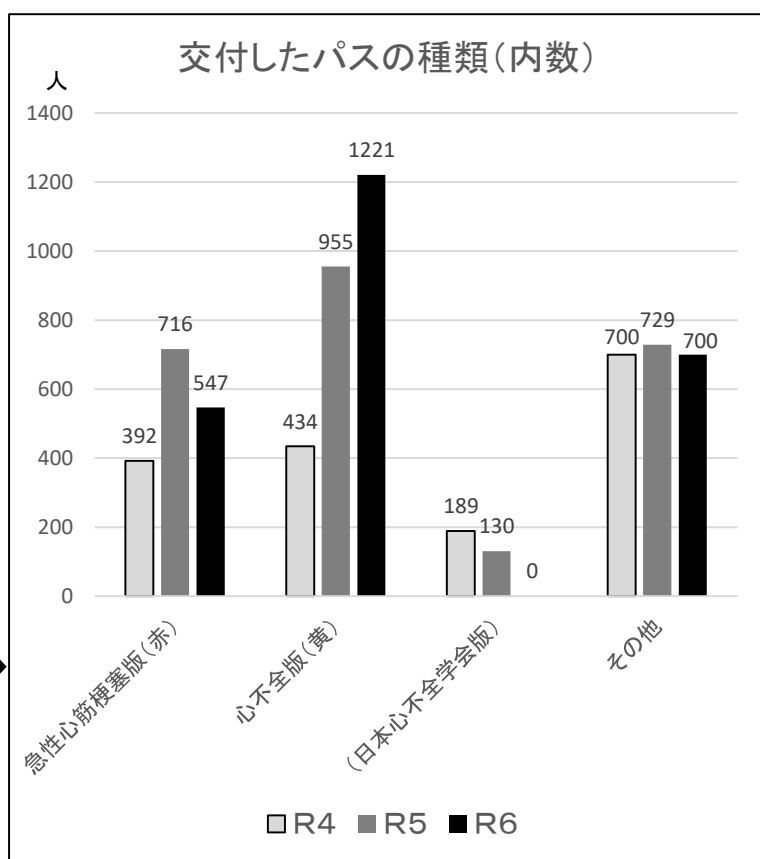
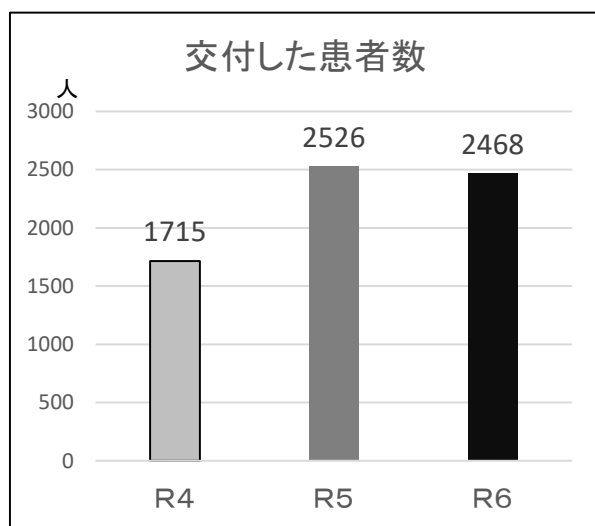
- ・院内で渡す基準(安心ハート手帳では記入等が難しいと感じる高齢者には、病棟で作成したものを渡している)を作っている
- ・手帳を活用した療養上の指導・指示が理解・履行できる患者(家族等の支援によるものも含む)を対象に交付したため
- ・患者の認知機能が低下していたり、病前ADLが寝たきりの場合、配布しなかった
- ・蘇生後症例や認知症症例で手帳の利用が困難な症例には配布しなかった

5 地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付した患者数

交付した患者数		(A)	2468人
パスの種類 (内数)	急性心筋梗塞版(赤)	(B)	547人
	心不全版(黄)	(C)	1221人
	(日本心不全学会版)心不全手帳	(D)	0人
	その他(自院等で作成したパス等)	(E)	700人
	不明	(F)	0人

※(A)=(B)+(C)+(D)+(E)+(F)

(参考) 新規入院患者数 急性心筋梗塞:977人、心不全:1,738人(初発)、1,537人(初発以外)

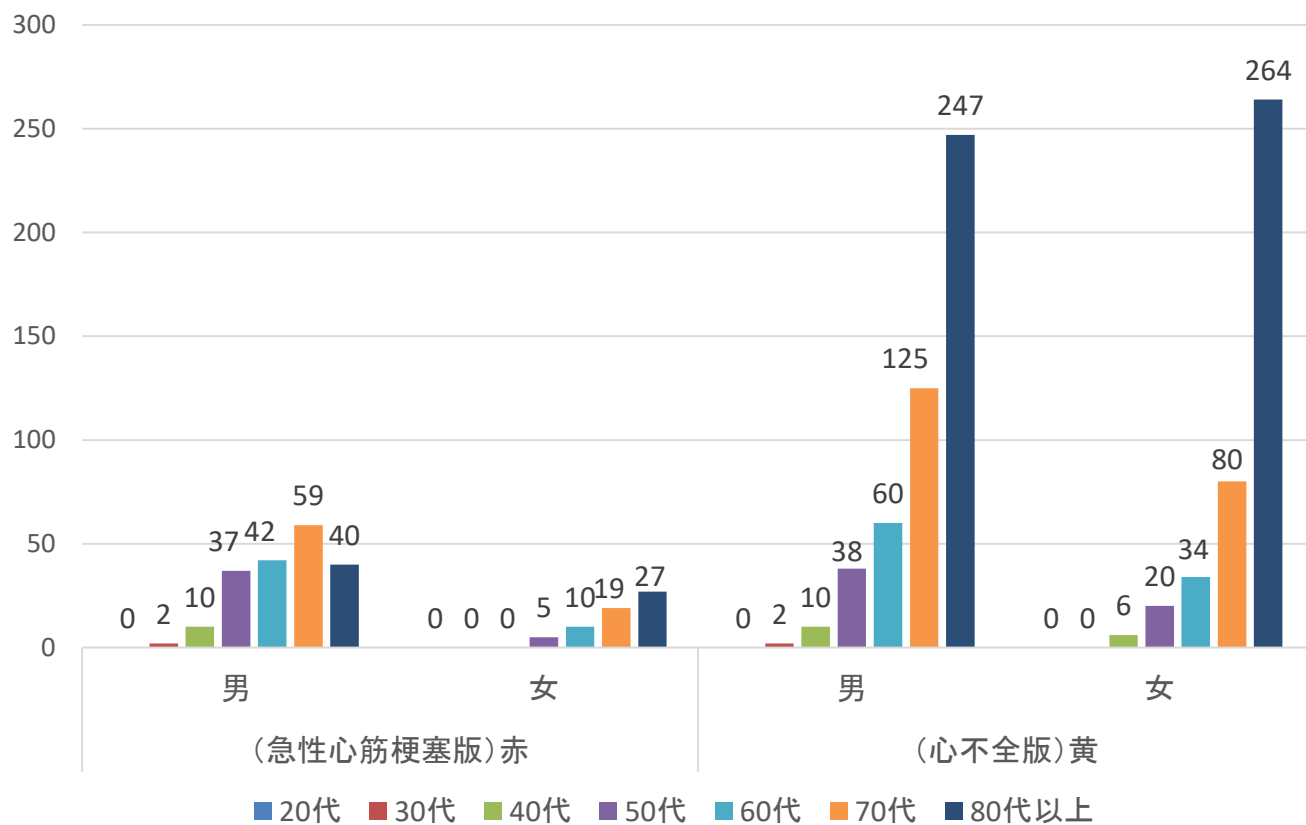


6 交付した患者の年代・性別

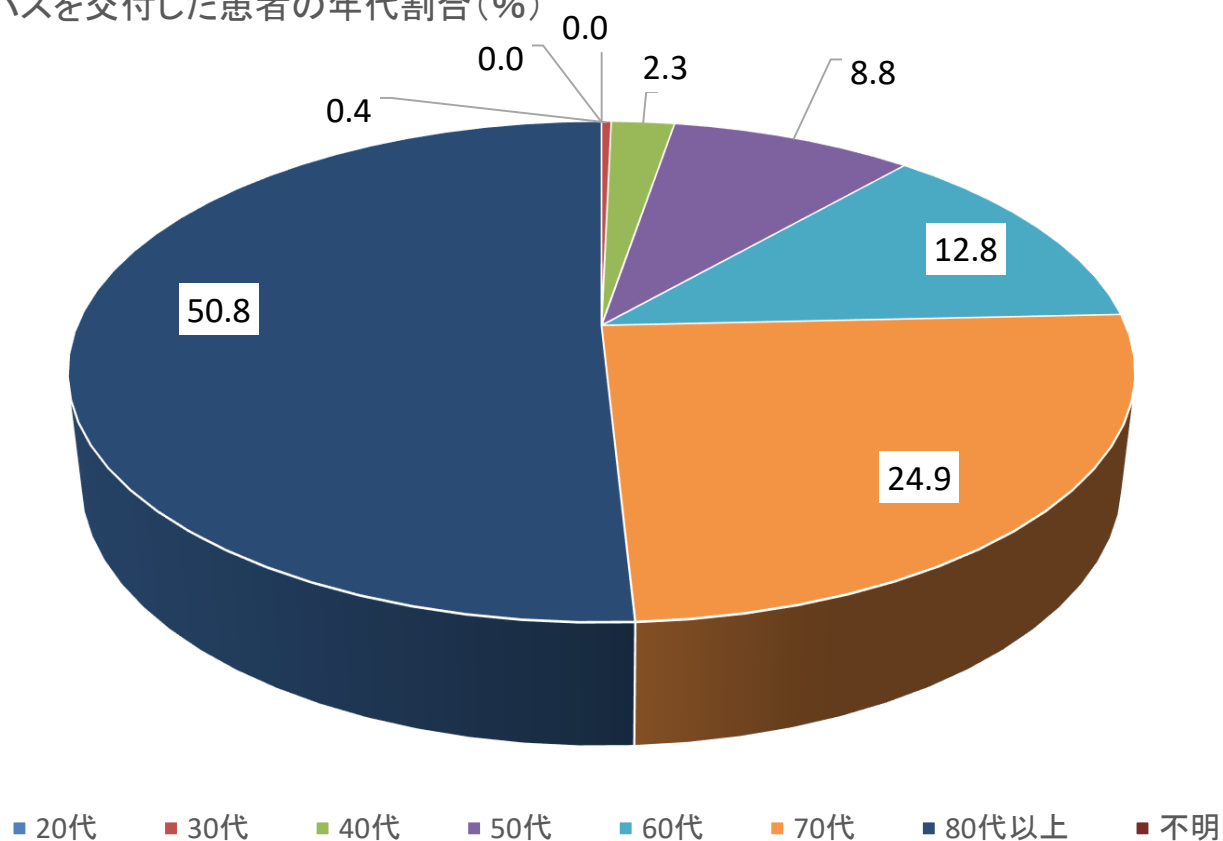
	(急性心筋梗塞版) 赤		(心不全版) 黄	
	男	女	男	女
20代	0	0	0	0
30代	2	0	2	0
40代	10	0	10	6
50代	37	5	38	20
60代	42	10	60	34
70代	59	19	125	80
80代以上	40	27	247	264
不明	0	0	0	0
合計	190	61	482	404

※その他(自院等で作成したパス等)については不明。

交付したパス種類・年代・性別



パスを交付した患者の年代割合(%)

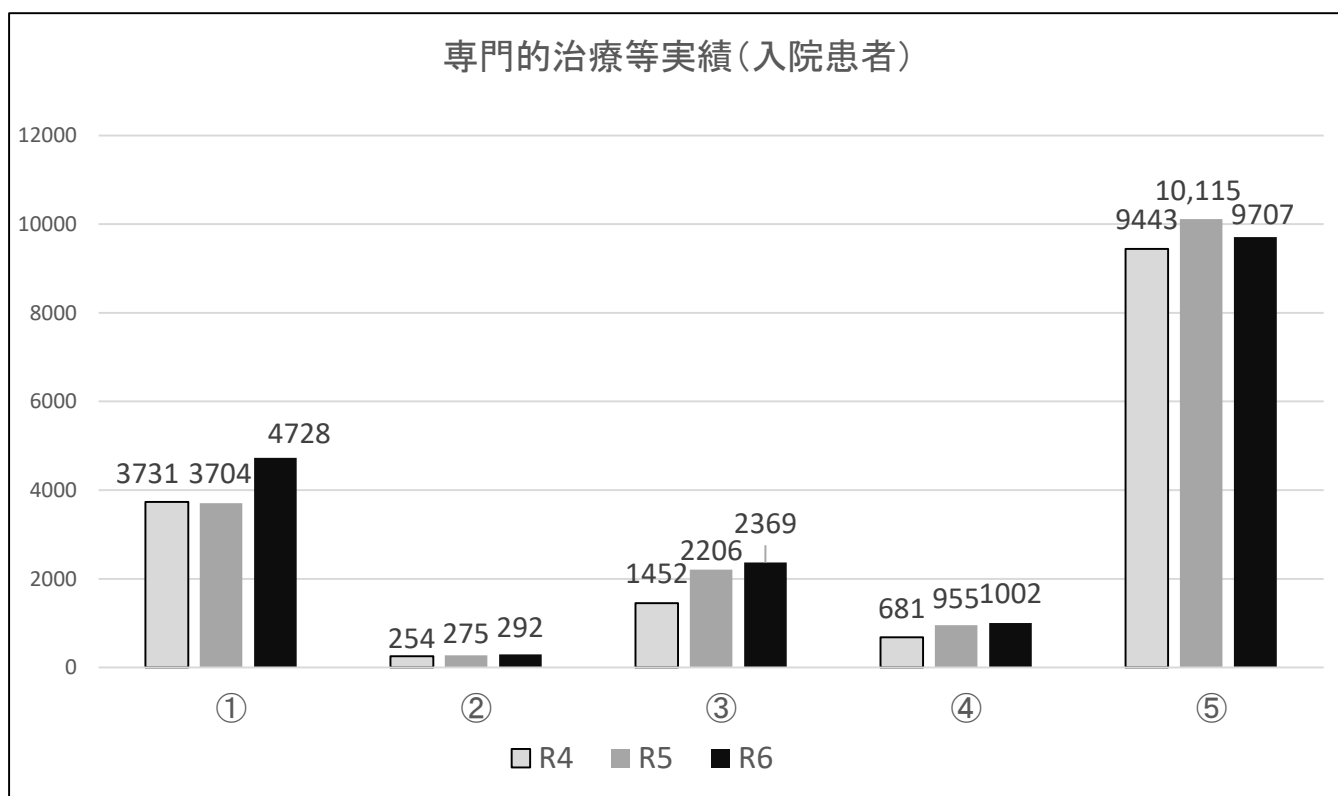


7 入院患者について、専門的治療等実施状況

区分	実施人数
① 冠動脈インターベンション(PCI)	4728人
② 冠動脈バイパス術(CABG)	292人
③ カテーテルアブレーション	2369人
④ ペースメーカー植込み(新規)	1002人
⑤ 心大血管疾患リハビリテーション(新規患者数) 計上の範囲 H000 心大血管疾患リハビリテーション科	9707人

8 入院患者について、経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術の実施状況

治療内容(診療報酬点数表のコード等)		実施人数 (算定回数)
K546 経皮的冠動脈形成術		
1	急性心筋梗塞に対するもの	393人
2	不安定狭心症に対するもの	145人
3	その他のもの	866人
K549 経皮的冠動脈ステント留置術		
1	急性心筋梗塞に対するもの	374人
2	不安定狭心症に対するもの	268人
3	その他のもの	1376人



9 地域連携診療計画加算の算定件数

1576件

※回答のあった13医療機関のうち、9施設(69.2%)＜病院9施設、診療所0施設＞において、算定あり。

※(参考)R2年 1041件、R3年 467件、R4年 383件、R5年 1026件

10 令和5年度に県が作成及び改訂した地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付した患者数

	R5	R6
急性心筋梗塞版(赤) 第5版	673人	498人
冠動脈疾患(青) 第6版	330人	498人
セルフモニタリングツール	144人	90人

11 令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数

	R5	R6
急性心筋梗塞地域連携フロー	244人	171人

12 「安心ハート手帳」を始めとする医療連携ツールの改善に向けて自由記載

・退院後、心不全指導した患者の経過のフィードバックができていないため、送り先との情報を共有する仕組み作りが必要(県で統一したアプリなど)

・逆紹介した患者が連携先の病院やクリニックで安心ハート手帳が継続できているか把握しづらい。中には安心ハート手帳を取り寄せてない連携先も多いと思う。

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況（令和6年）

回復期・再発予防・かかりつけ医療機関

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関の届出施設【回復期・再発予防・かかりつけ医療機関】

246施設（病院75施設、診療所171施設）うち、回答のあった233施設（94. 72%）

<病院73施設（97. 33%）、診療所160施設（93. 57%）>の集計結果

1 地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者状況

	R4		R5		R6	
いた	61施設	27.50%	57施設	26.51%	65施設	27.90%
いない	126施設	57.20%	125施設	58.14%	148施設	63.52%
不明	23施設	10.40%	26施設	12.09%	19施設	8.15%
無記入	1施設	0.45%	7施設	3.26%	1施設	0.43%

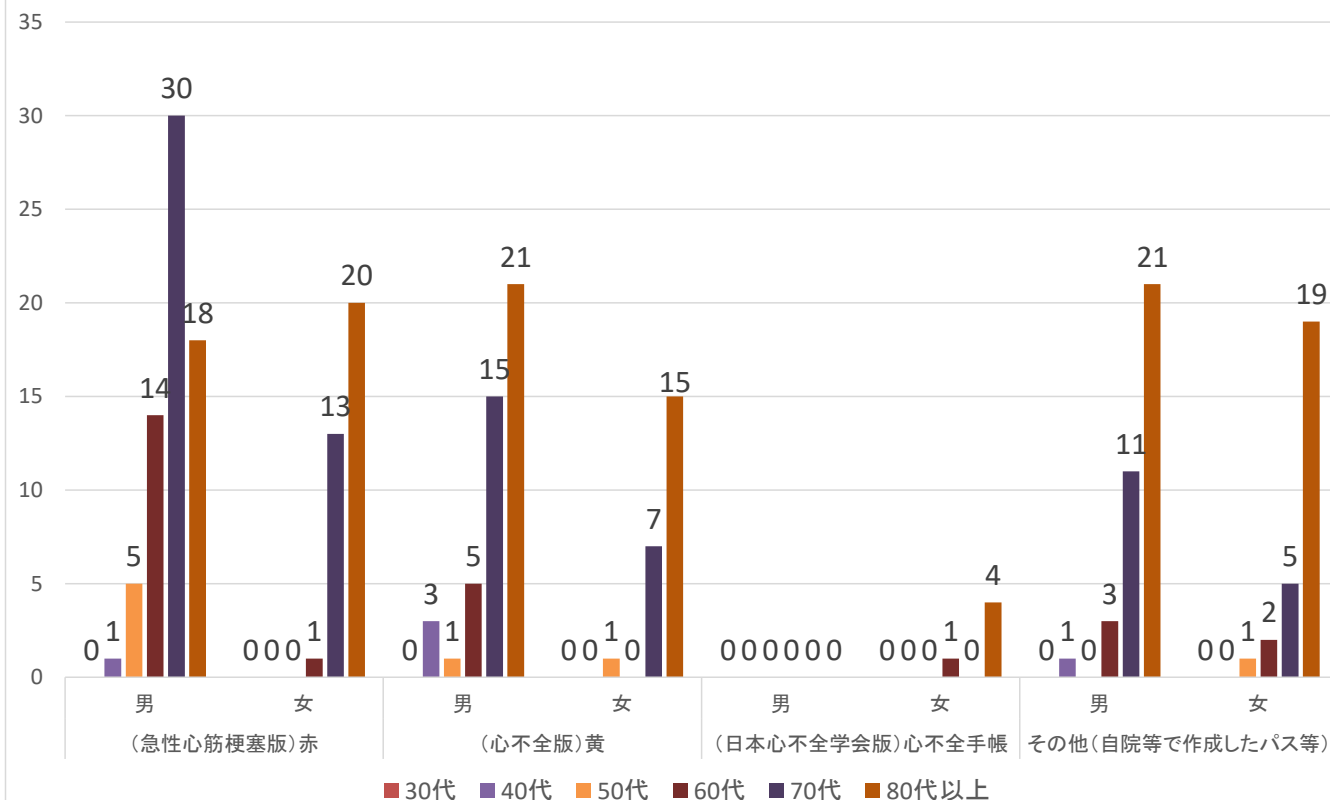
2 2で「1.いた」のうち、持参した患者について、分かる範囲での紹介元の医療機関と人数

紹介元の医療機関名	施設数	持参した患者数	うち手帳の種類									
			急性心筋梗塞版（赤）		心不全版（黄）		（日本心不全学会版）心不全手帳		その他（他・自院等で作成したパス等）		不明	
			施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数
倉敷中央病院	36	166	20	41	13	55	2	2	14	64	1	1
心臓病センター 榊原病院	16	30	6	7	10	16	1	1				
岡山赤十字病院	6	7	5	5	2	2						
岡山市立市民病院	4	13	2	3	3	10						
岡山大学病院	2	2			2	2						
岡山医療センター	3	4			2	3						
岡山ハートクリニック	2	2	1	1								
川崎医科大学附属病院	2	2	1	1								
津山中央病院	3	3			2	2	1	1				
川崎医科大学総合医療センター	1	4			1	4						

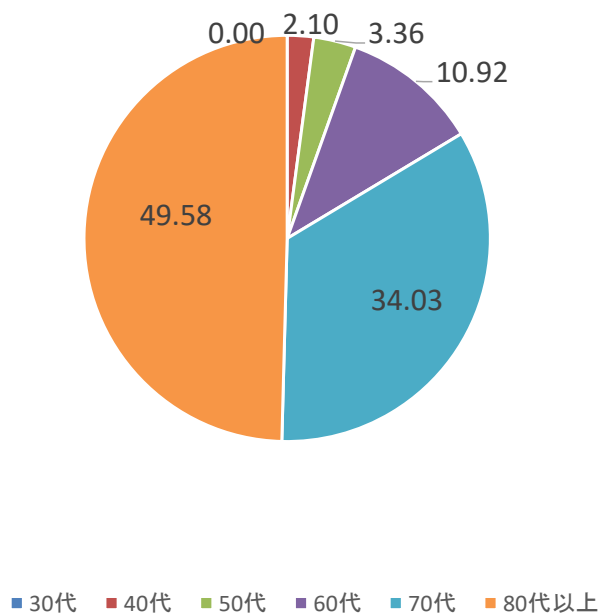
3 医療連携パスを持参した方のうち分かる範囲での患者の年代

	（急性心筋梗塞版）赤		（心不全版）黄		（日本心不全学会版）心不全手帳		その他（自院等で作成したパス等）		合計
年代	男	女	男	女	男	女	男	女	
30代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40代	1	0	3	0	0	0	1	0	5
50代	5	0	1	1	0	0	0	1	8
60代	14	1	5	0	0	1	3	2	26
70代	30	13	15	7	0	0	11	5	81
80代以上	18	20	21	15	0	4	21	19	118
合計	68	34	45	23	0	5	36	27	238
男女合計	102		68		5		63		

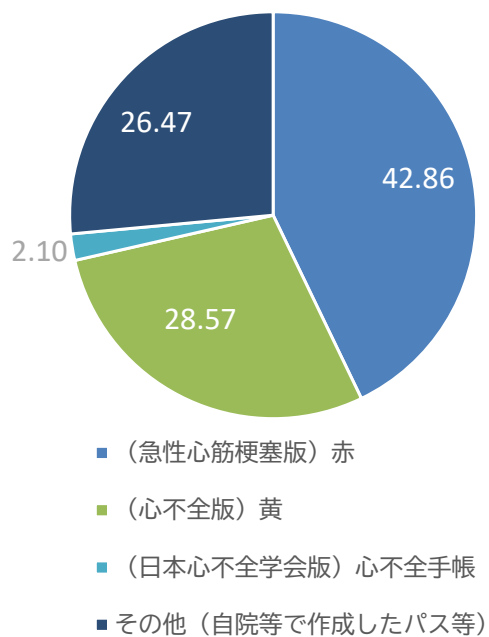
持参した医療連携パスごとの患者性別・年代(人)



医療連携パス持参者の年代割合 (%)



医療連携パス持参割合 (%)



- 連携パスを持参した患者の約半数は、80代以上となっている
- 手帳の種類に限らず、手帳を持参する患者は、女性よりも男性が多い
- 持参された医療連携パスの約71.4%は、県が作成した医療連携パスとなっている

4 入院及び外来受診患者について、指導状況等

区分	実施施設数(施設)			実施人数(人)		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6
① 心臓ペースメーカー指導管理	56	45	37	1701	3094	3985
② 心大血管疾患リハビリテーション	32	30	19	2781	4276	3261
③-1 栄養指導 外来栄養食事指導料	51	45	45	2683	1160	1470
③-2 栄養指導 入院栄養食事指導料(週1回)	49	39	43	2786	1828	1801
③-3 栄養指導 集団栄養食事指導料	12	3	3	20	179	423

※③-1～3 栄養食事指導料については、システム上、心疾患名から実施患者数を計上できない医療機関があるため、一部他疾患による栄養食事指導実施人数が含まれている。

5 患者が有している合併症

複数の疾患を有している場合があり、合計数は多くなっている。

疾患名		人数
高血圧		8119人
糖尿病		5093人
慢性腎不全	維持透析あり	265人
	維持透析なし	604人
脂質異常症		3302人
その他		846人

6 令和5年度に県が作成したセルフモニタリングツールを使って受診された患者数

	R5	R6
セルフモニタリングツール	3人	0人

7 令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数

	R5	R6
急性心筋梗塞地域連携フロー	7人	0人

8 地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を始めとする医療連携ツールの改善に向けてのご意見

コメント
・専門医療機関を定期受診している患者が、ハート手帳を持参されないため、情報共有は紹介状となっている。 ・退院時に渡しているが、外来へ持参されない方が多い。自宅に血圧計、体温計がないといわれる方も多い。水分制限もある方もいるので、水分量をかく欄があってもよいのではないかなと思う。 ・ツールと運用についての見直しの時期にあるのではないかな。利用率は高くないし、周知についても不明確。退院後に確認すると、目標血圧や体重コントロール、浮腫で体重が増えた時にどう対応するか理解できてない、記憶にない方がほとんど。 ・利用者が少ない、または受診時に提示されない。 ・ACPなどを含めて心不全のガイドラインの変更を伴う手帳の改訂をお願いしたい。

岡山県急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関
参加届出医療機関の長 殿

岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議会長
岡山県保健医療部疾病感染症対策課長

「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況」
に係る調査について（依頼）

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本県では、岡山県保健医療計画「心筋梗塞等の心疾患血管の医療連携体制」において定める急性期、回復期、再発予防等の各機能を担っていただいている医療機関を対象に、年1回、診療状況等の調査を行い、「岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議」を通じた現状把握や課題検討に役立てているところです。

御多忙の折、恐縮ですが、このたび令和6年分の調査を実施いたしますので、下記により御報告ください。

記

- 1 調査内容 令和6年（R6.1.1～R6.12.31）の診療状況等
- 2 調査様式 「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況 調査表」
急性期病院用
回復期・再発予防・かかりつけ医療機関用
※貴院（所）に担っていただいている医療機能の様式のみ送付しています。
- 3 回答方法 各様式に御記入の上、FAXまたはメールにて提出してください。
（送り状は不要）
- 4 回答期限 令和7年8月1日（金）
- 5 その他 （1）記入にあたっては、同封の記入要領を御確認ください。
（2）参考に昨年度調査報告（令和5年度実績）を同封しています。

岡山県保健医療部
疾病感染症対策課疾病対策班（担当：田中）
〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4-6
TEL 086-226-7321 / FAX 086-226-7958
E-mail saki_tanaka@pref.okayama.lg.jp

急性期病院用

※ 令和7年8月1日(金)までにご回答願います。

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況 調査票

医療機関名:
住所:
連絡先電話番号:
記入者:
メールアドレス:

2024年(R6.1.1～R6.12.31)の貴院の状況についてお答えください。

問1. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中、急性心筋梗塞または心不全、大動脈解離により、新規入院した患者数をご記入ください。

		急性心筋梗塞	心不全			大動脈解離
			初発による入院	初発以外による入院	その他	
新規入院患者数(A)		人	人	人	人	人
入院後の状況 (内数)	入院継続中(B)	人	人	人	人	人
	他医療機関への転院(C)	人	人	人	人	人
	退院(D) (生活の場への復帰)	人	人	人	人	人
	入院中に死亡した患者数(E)	人	人	人	人	人
	不明(F)	人	人	人	人	人

※ (A)=(B)+(C)+(D)+(E)+(F)

問2-1. 問1の患者が有している合併症について、分かる範囲で当てはまるものの人数を記載してください。

疾患名		人数
高血圧		人
糖尿病		人
腎不全	維持透析あり	人
	維持透析なし	人
脂質異常症		人
その他 ()		人

問2-2. 問1の患者について、分かる範囲で下記3項目に当てはまるものの人数を記載してください。

項目		人数
喫煙状況	喫煙	人
	禁煙 (過去に喫煙歴あり)	人
	喫煙経験なし	人
かかりつけ医	あり	人
	なし	人
同居家族	あり	人
	なし	人

調査票2枚目へ →

医療機関名:

問3. 問1の入院患者のうち、地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)の適応症例に該当する患者がいましたか。

1. いた →問4へ
2. いない } →問8へ
3. 不明 }

※「安心ハート手帳」の適応症例(「安心ハート手帳運用マニュアル」より抜粋)

概ね以下に示す症例としています。

◇ 急性心筋梗塞

- ・重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
- ・心臓リハビリテーションが順調に経過した症例
- ・ADLが自立している症例
- ・冠動脈再灌流療法が施行された症例

◇ 心不全

- ・重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
- ・基本的に静注薬や酸素吸入が不要な症例

問4. 問3で「1. いた」を選択した方にお伺いします。

貴院では、その患者に地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付しましたか。

1. 全員に交付した } →問5へ
2. 一部の患者に交付した }
3. まったく交付しなかった →問7へ

問5. 2024年(R6.1.1~R6.12.31)の期間中、地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を新規に交付した患者数をご記入ください。

交付した患者数		(A)	人
パス (内数) の種類	急性心筋梗塞版(赤)	(B)	人
	心不全版(黄)	(C)	人
	(日本心不全学会版)心不全手帳	(D)	人
	その他(自院等で作成したパス等)	(E)	人
	不明	(F)	人

※(A)=(B)+(C)+(D)+(E)+(F)

問6. 問5で交付した患者の年代・性別を分かる範囲でご記入ください。

	急性心筋梗塞版(赤)		心不全版(黄)		(日本心不全学会版)心不全手帳		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女
10代								
20代								
30代								
40代								
50代								
60代								
70代								
80代以上								
合計								

調査票3枚目へ →

医療機関名:

問7. 問4で「2. 一部の患者に交付した」または「3. まったく交付しなかった」を選択した方にお伺いします。
地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を交付しなかった主な理由をお聞かせ下さい。(2つまで回答可)

1. 安心ハート手帳のことを知らなかった(院内での周知が図られていなかった)。
2. 使い方がわからなかった。
3. 患者の理解が得られなかった。
4. 忙しくて手が回らなかった
5. 院内に在庫がなかった。
6. その他

問8. 2024年(R6.1.1~R6.12.31)の期間中の入院患者について、専門的治療等実施状況をご記入ください。

区分	実施人数
① 冠動脈インターベンション(PCI)	人
② 冠動脈バイパス術(CABG)	人
③ カテーテルアブレーション	人
④ ペースメーカー植込み(新規)	人
⑤ 心大血管疾患リハビリテーション(新規患者数)	人

問9. 2024年(R6.1.1~R6.12.31)の期間中の入院患者について、経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術の実施状況をご記入ください。

治療内容(診療報酬点数表のコード等)		実施人数 (算定回数)
K546 経皮的冠動脈形成術		
	1 急性心筋梗塞に対するもの	人
	2 不安定狭心症に対するもの	人
	3 その他のもの	人
K549 経皮的冠動脈ステント留置術		
	1 急性心筋梗塞に対するもの	人
	2 不安定狭心症に対するもの	人
	3 その他のもの	人

調査票4枚目へ →

医療機関名:

問10. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中の地域連携診療計画加算の算定件数をご記入ください。

(参考)地域連携診療計画加算:300点(退院時1回)

件

問11. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中、令和5年度に県が作成及び改訂した地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を新規に交付した患者数をご記入ください。

	交付した患者数
急性心筋梗塞版(赤) 第5版	人
冠動脈疾患(青) 第6版	人
セルフモニタリングツール	人

問12. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中、令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数について、ご記入ください。

急性心筋梗塞地域連携フロー	人
---------------	---

問13. 「安心ハート手帳」を始めとする医療連携ツールの改善に向けて、お気づきの点、あった方がよいと感じる内容がございましたら自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査

【記入要領】

<回答にあたっての留意事項>

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の貴院の状況についてお答えください。

・全国規模の統計調査との比較を行うため、調査期間を「1～12月」にしています。

【問 1】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中、急性心筋梗塞または心不全、大動脈解離により、新規入院した患者数をご記入ください。

- ・2024 年（R6.1.1～R6.12.31）の期間中に貴院に「急性心筋梗塞」、「心不全」、「大動脈解離」を主疾患名として入院した患者数を延人数でご記入ください。
- ・「心不全」については、下記のとおり区分して計上してください。
 - 「初発による入院」・・・はじめて心不全を発症した患者（R5.12.31 以前から初発により入院継続中の患者を含む）
 - 「初発以外の入院」・・・従前から心不全の症状があり、急性増悪のため再入院した者等、初発以外の入院患者（R5.12.31 以前から入院継続中の患者を含む）
 - 「その他」・・・「初発による入院」、「初発以外の入院」に当てはまらない患者
- ※急性増悪による入院について、「初発」、「初発以外」が不明の場合は、「初発による入院」として計上してください。
- ・1回の入院を「1」とし、同じ患者が複数回入院した場合は、延人数でご記入ください。
- ・1人の患者が、別区分の心疾患で上期間内に入院した場合は、それぞれの疾患における入院として計上してください。
- ・他医療機関への転院（C）には、院内の他科への転棟も含めてください。
（例：急性期病棟から、慢性期病棟や地域包括ケア病棟等への転棟）
- ・退院（生活の場への復帰）（D）には、自宅のほか、介護老人保健施設、老人ホーム、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅も含めて、記載してください。
- ・不明（F）には、（B）、（C）、（D）、（E）に当てはまらない場合、若しくは入院後の状況が不明の場合に計上してください。
- ・新規入院患者数（A）＝入院継続中（B）＋他医療機関への転院（C）＋退院（D）＋入院中に死亡した患者数（E）＋不明（F）となります。

【問2-1】

問1の患者が有している合併症について、分かる範囲で当てはまるものの人数を記載してください。

- ・貴院で治療を行った問1の患者のうち、「高血圧」、「糖尿病」、「腎不全」（維持透析あり・なし）「脂質異常症」「その他」を有している患者の人数を記載してください。
- ・複数の合併症を有している場合、各合併症について「1人」と計上してください。

【問2-2】

問1の患者について、分かる範囲で下記3項目に当てはまるものの人数を記載してください。

- ・貴院で治療を行った問1の患者のうち、「喫煙状況（喫煙、禁煙、喫煙経験なし）」、「かかりつけ医の有無」、「同居家族の有無」について、それぞれの項目に該当する人数を記載してください。
- ・喫煙状況については、入院時点の状況で記入ください。入院中、禁煙指導した患者については、「喫煙」に記入ください。

【問3】

問1の入院患者のうち、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）の適応症例に該当する患者がいましたか。

- ・地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）とは、県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、または自院等で独自に作成している同種のパス等のことです。

【問5】

2024年（R6.1.1～R6.12.31）の期間中、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を新規に交付した患者数をご記入ください。

- ・県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成している「心不全手帳」またはそれに類するものについて、それぞれ交付した人数をご記入ください。
- ・1人の患者に種類の異なる別の地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した場合は、それぞれ「1回」交付として計上してください。
- ・手帳を紛失した患者に再交付したことがあきらかな場合は、計上しないでください。

【問6】

問5で交付した患者の年代・性別を分かる範囲でご記入ください。

- ・問5で交付したと回答した「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成している「心不全手帳」またはそれに類するものについて、それぞれ交付した年代と性別ごとの人数をご記入ください。

【問8】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中の入院患者について、専門的治療等実施状況をご記入ください。

- ・下表の区分に従い、診療報酬を算定した回数を記載してください。
- ・1回の治療内容で複数区分の診療報酬点数を算定した場合は、それぞれの区分を「1人」として計上してください。
- 同一区分の中で、複数の治療内容を行った場合でも、区分としては「1人」として計上してください。
- ・同じ患者が1つの算定区分を上記期間中に複数回算定した場合は、延人数として計上してください。
- ・問1の入院患者数と一致する必要はありません。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① 冠動脈インターベンション（PCI）	K547 経皮的冠動脈粥種切除術 K548 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） K550 冠動脈内血栓溶解療法 K550-2 経皮的冠動脈血栓吸引術
② 冠動脈バイパス術（CABG）	K552 冠動脈、大動脈バイパス移植術 K552-2 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工肺を使用しないもの） K553 心室瘤切除術（梗塞切除を含む） （※「1 単独のもの」を除く） 2 冠動脈血行再建術（1 吻合）を伴うもの 3 冠動脈血行再建術（2 吻合以上）を伴うもの K553-2 左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 （※「1 単独のもの」を除く） 2 冠動脈血行再建術（1 吻合）を伴うもの 3 冠動脈血行再建術（2 吻合以上）を伴うもの
③ カテーテルアブレーション	K594-2 肺静脈隔離術 K595 経皮的カテーテル心筋焼灼術
④ ペースメーカー植込み（新規）	K597 ペースメーカー移植術 K598 両心室ペースメーカー移植術（CRT） K599 植込型除細動器移植術（ICD） K599-3 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（CRTD）
⑤ 心大血管疾患リハビリテーション（新規患者数）	H000 心大血管疾患リハビリテーション料

【問 9】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中の入院患者について、経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術の実施状況をご記入ください。

- ・「K546 経皮的冠動脈形成術」及び「K549 経皮的冠動脈ステント留置術」の「1 急性心筋梗塞に対するもの」、「2 不安定狭心症に対するもの」、「3 その他のもの」について、診療報酬を算定した回数を記載してください。
- ・1回の治療内容で複数区分の診療報酬点数を算定した場合は、それぞれの区分を「1人」として計上してください。
- ・同一区分の中で、複数の治療内容を行った場合でも、区分としては「1人」として計上してください。
- ・同じ患者が1つの算定区分を上記期間中に複数回算定した場合は、延人数として計上してください。
- ・問1の入院患者数と一致する必要はありません。

【問 10】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中の地域連携診療計画加算の算定件数をご記入ください。

- ・診療報酬加算点数を算定した件数（延件数）をご記入ください。
- ・同じ患者が、複数回入院する等により、複数回算定している場合は、それぞれ「1件」とし、延件数で計上してください。
- ・問1の入院患者と一致する必要はありません。上記期間外に治療した患者について、上記期間中に診療報酬を算定した場合は、件数にカウントしてください。

【問 11】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中、令和5年度に県が作成及び改訂した地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を新規に交付した患者数をご記入ください。

- ・県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）第5版」、「冠動脈疾患 上手につき合うために 第6版」、「セルフモニタリングツール」について、それぞれ交付した人数をご記入ください。
- ・1人の患者に種類の異なる別の地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した場合は、それぞれ「1回」交付として計上してください。
- ・手帳を紛失した患者に再交付したことがあきらかな場合は、計上しないでください。

【問 12】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中、令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数について、ご記入ください。

- ・県が配付している「急性心筋梗塞地域連携フロー」について、かかりつけ医への引き継ぐ目安として使用した患者数をご記入ください。

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況 調査票

医療機関名:
住所:
連絡先電話番号:
記入者:
メールアドレス:

2024年(R6.1.1～R6.12.31)の貴院の状況についてお答えください。

問1. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中に、地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を持参した患者がいましたか。

1. いた
2. いない
3. 不明
- 問2へ
→問4へ

問2. 問1で「1.いた」を選択した方にお伺いします。
地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を持参した患者について、紹介元の医療機関と人数を、分かる範囲でお答えください。

紹介元の医療機関名	持参した患者数	うち手帳の種類が分かるもの			
		急性心筋梗塞版(赤)	心不全版(黄)	(日本心不全学会版)心不全手帳	その他(他・自院等で作成したパス等)
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人

問3. 問2で記載した患者の年代・性別について、分かる範囲でご記載ください。

	急性心筋梗塞版(赤)		心不全版(黄)		(日本心不全学会版)心不全手帳		その他(他・自院等で作成したパス等)	
	男	女	男	女	男	女	男	女
10代								
20代								
30代								
40代								
50代								
60代								
70代								
80代以上								
合計								

医療機関名

問4. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする者の入院及び外来受診患者について、指導状況等をおしえてください。

区分	実施人数
① 心臓ペースメーカー指導管理	人
② 心大血管疾患リハビリテーション	人
③-1 栄養指導 外来栄養食事指導料	人
③-2 栄養指導 入院栄養食事指導料(週1回)	人
③-3 栄養指導 集団栄養食事指導料	人

問5. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする患者が有している合併症について、分かる範囲であてはまるもの的人数をお答えください。

疾患名		人数
高血圧		人
糖尿病		人
腎不全	維持透析あり	人
	維持透析なし	人
脂質異常症		人
その他()		人

問6. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中、令和5年度に県が作成したセルフモニタリングツールを使って受診された患者数について、ご記入ください。

セルフモニタリングツール	人
--------------	---

問7. 2024年(R6.1.1～R6.12.31)の期間中、令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数について、ご記入ください。

急性心筋梗塞地域連携フロー	人
---------------	---

問8. 地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を始めとする医療連携ツールの改善に向けて、お気づきの点がございましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査

【記入要領】

＜回答にあたっての留意事項＞

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の貴院の状況についてお答えください。

- ・ 全国規模の統計調査との比較を行うため、調査期間を「1～12月」にしています。

【問 1】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中に、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した新規又は初診（再診）患者がいましたか。

- ・ 地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）とは、県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」及び「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」または、自院等独自に作成している同種のパス等のことです。

【問 2】

地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者について、紹介元の医療機関と人数を分かる範囲でお答えください。

- ・ 入院、外来は問いません。
- ・ 県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成した「心不全手帳」またはそれに類するものについて、それぞれ持参した人数をそれぞれご記入ください。
- ・ 一人の患者が種類の異なる、別の地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した場合は、それぞれ1回持参として計上してください。
- ・ 内訳など、不明な箇所は空欄で結構です。

【問 3】

問 2 で記載した患者の年代・性別について分かる範囲でご記載ください。

- ・ 問 2 で持参したと回答した「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成した「心不全手帳」またはそれに類するものについてそれぞれを持参した年代ごと・性別ごとの人数を記載ください。
- ・ 1 人の患者が種類の異なる、別の地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した場合は、それぞれ 1 人として計上してください。

【問4】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする者の入院及び外来受診患者について、指導状況等をおしえてください。

- ・2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間において、急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする者に対して、下表の区分に従い、実際に行った治療等の人数（実人数）を記載してください。
- ・同じ患者が、入院と外来受診をしている場合は、実人数「1 人」として計上してください。
- ・同じ患者が、別区分の心疾患で入院または外来受診した場合は、それぞれの疾患において「1 人」として計上してください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① 心臓ペースメーカー指導管理	B001-12 心臓ペースメーカー指導管理料
② 心大血管疾患リハビリテーション	H000 心大血管疾患リハビリテーション料
③ -1 栄養指導	B001-9 外来栄養食事指導料
③ -2 栄養指導	B001-10 入院栄養食事指導料（週 1 回）
③ -3 栄養指導	B001-11 集団栄養食事指導料

【問5】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする患者が有している合併症について、分かる範囲であてはまるものの人数をお答えください。

- ・貴院で治療を行った問4の患者のうち、「高血圧」、「糖尿病」、「腎不全」（維持透析あり・なし）「脂質異常症」「その他」について、合併症として有している場合、それぞれの人数を記載してください。
- ・複数の合併症を有している場合、それぞれを1人として記載してください。

【問6】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中、令和5年度に県が作成したセルフモニタリングツールを使って受診された患者数について、ご記入ください。

- ・県が配付している「セルフモニタリングツール」を活用し、患者自身が症状悪化を把握して受診された患者の数をご記入ください。

【問7】

2024 年（R6. 1. 1～R6. 12. 31）の期間中、令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数について、ご記入ください。

- ・県が配布している「急性心筋梗塞地域連携フロー」を活用し、急性期病院へ引き継いだ患者数をご記入ください。